

春の全国火災予防運動

3月1日(木)から3月7日(水)までの一週間、春の全国火災予防運動が展開されます。この運動は、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防のより一層の普及を図り、火災の発生を防止し死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的としています。

また、これにあわせて山火事予防および車両火災予防の運動も同時に実施され、消防署(出張所)では、林野火災想定訓練など各種行事を予定しています。

これを機会に、職場やご家庭で、火災予防について話し合ってみませんか。

「ガイドライン2005」をご存知ですか？

心肺蘇生法が見直され、新たに世界的に統一された基準の心肺蘇生法「ガイドライン2005」が策定されました。これにより、一般市民にも分かりやすく、より早く効果的な心肺蘇生法へと変わりました。心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使用における主な変更は、次のとおりです。

※自動体外式除細動器(AED)とは…？

心疾患による突然の心肺停止患者の心臓に電気ショックを行うことにより心拍の再開を促す器具で、一般市民の方でも使用可能なものです。(全て心拍が再開するものではありません。)

現在、空港や官公庁などに設置されつつあります。AEDを使用する場合は全て音声ガイドに従って下さい。

- ①意識の確認
- ②助けを呼ぶ(119番とAEDの手配)
- ③気道の確保(頭部後屈あご先挙上法)
- ④呼吸の確認(10秒以内で)
- ⑤人工呼吸2回(1回1秒)
- ⑥胸骨圧迫法 30回と人工呼吸 2回
- ⑦AED装着(電源を入れる。パッド装着)
以後は、音声ガイドに従って行う。

これに伴い、備北消防では市民の皆さんに新たな心肺蘇生法を習得していただくため、救急教室や救命講習などの取り組みを行っています。一人でも多くの命を救うため積極的なご参加をお願いします。お問い合わせは、最寄りの消防署または出張所まで。

知っておきたい消費生活

市民生活課生活安全係

☎0824-73-1154

【相談事例】

血液がサラサラって本当ですか？

展示会場で「血液検査を無料ですますよ」と声をかけられ、自分で指から少量の血液を取り、顕微鏡につないだモニター画面で血液の状態を見た。

業者から、「あなたの血液はドロドロ」「このままでは脳梗塞になる」「このプレスレットをつける」と血液がサラサラになる」と言われた。つけたあとの血液の方がサラサラに見えたことから、20万円のプレスレットを購入したが、後になってよく考えると、効果があるとは思えないので解約したい。

アドバイス

科学的な検査を装って、プレスレットに「血液サラサラ効果がある」と信用させる手口です。

医療機器として承認・許可を得ていない商品について、効果・効能をうたって販売す

ることは薬事法で禁止されています。

また、基本的に「血液サラサラ」「血液ドロドロ」という状態は、医学的にも科学的にも定義付けされておらず、言葉がひとり歩きをして、言葉のイメージだけで多くの人が「わかったつもり」になっています。

相談事例のように、科学的な根拠もなく、「血液がサラサラになる」など事実と異なることを告げられた場合は、消費者契約法により契約の取り消しを主張することができます。

他にも、「この水を飲めばどんな病気もおさる」「マイナスイオンで健康になる」などの根拠のない商品が数多くありますが、被害にあわないためには、販売員の言葉巧みなセールストークをうのみにせず、契約する前に本当に必要なものかどうかよく考えて判断するようにしましょう。

また、健康に不安がある場合は、自分で判断せずに医師の診察を受けましょう。